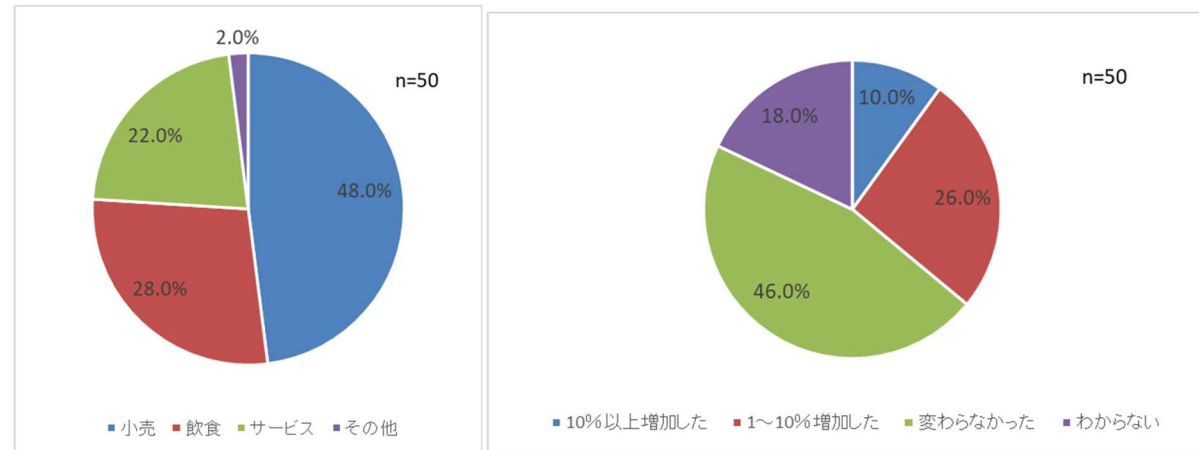


2. プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果

(1) 取扱店の業種構成 (2) プレミアム商品券販売前と比較した売上の変化



回答事業所のうち、「小売」「飲食」「サービス」の合計割合が98.0%であった。そのうち約半数が小売であった。「売上が10%以上増加」及び「1~10%増加した」と回答した店舗が全体の36.0%あり一定の売上増加の効果となったが、「変わらなかった」及び「わからない」などの効果が実感できていない回答も64.0%あった。

(3) 今後の売上の見通し

「あまり変わりなさそう」と回答した事業者が昨年より約4%減少した一方、「悪くなりそう」と回答した事業者も約4%と減少していることから、景気が回復傾向にあると考える事業者も一定数いることがわかる。ただし、まだ「良くなる」と回答できる事業者があまりいないこともわかる。

商品券以外のデータに基づく地区ごとの詳細情報は、下記香春町商工会ホームページの経営発達支援計画のページをご参照ください。

香春町商工会ホームページアドレス <https://www.kawara-s.or.jp/shien-hattatu/>

令和 6 年 1 2 月

発行元：香春町商工会

福岡県田川郡香春町大字香春 751 番地

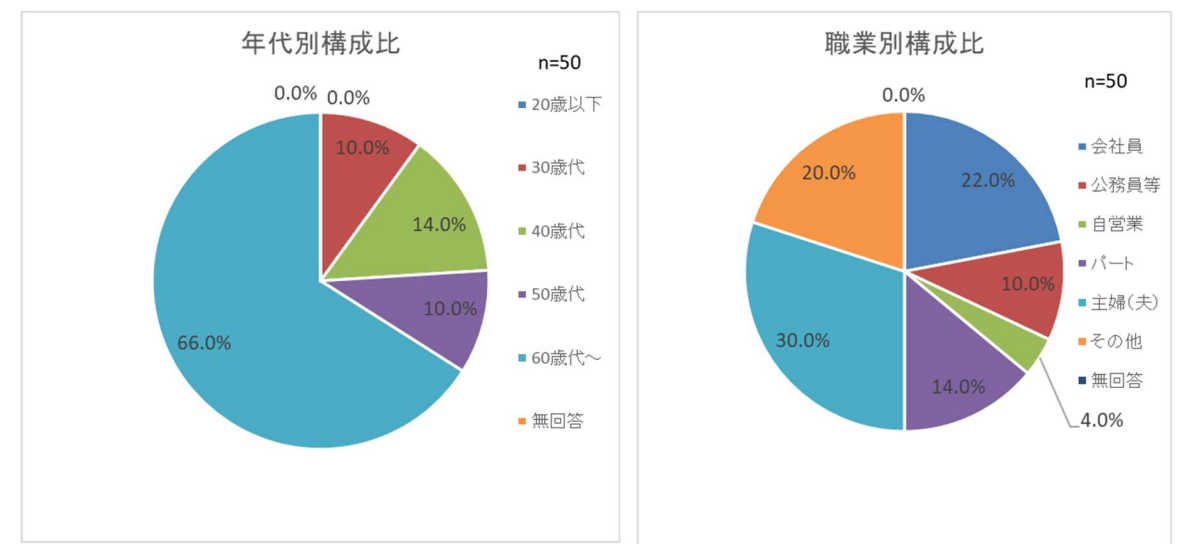
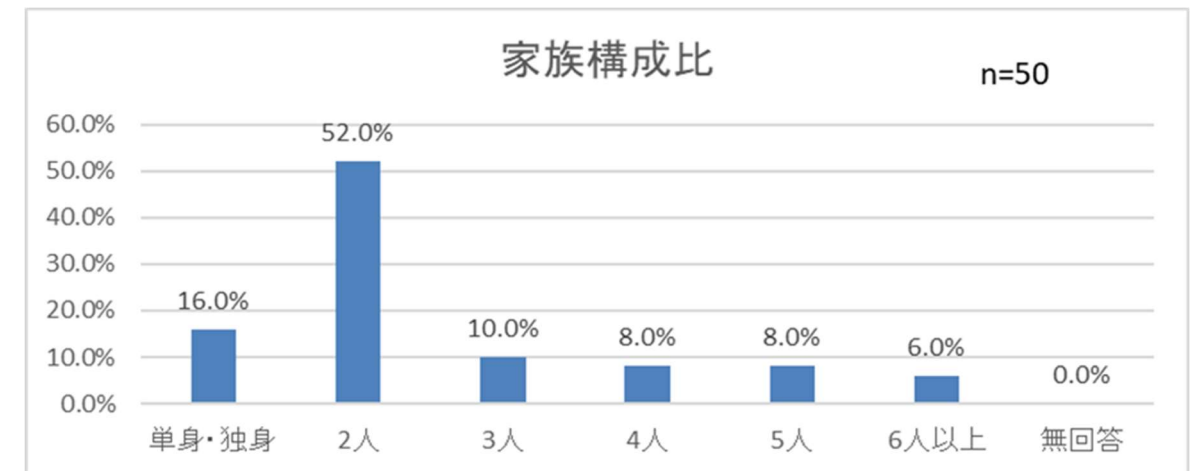
TEL 0947-32-2070 FAX 0947-32-7397

令和 6 年度需要動向調査報告書【概要版】

1. プレミアム商品券利用者アンケート調査結果

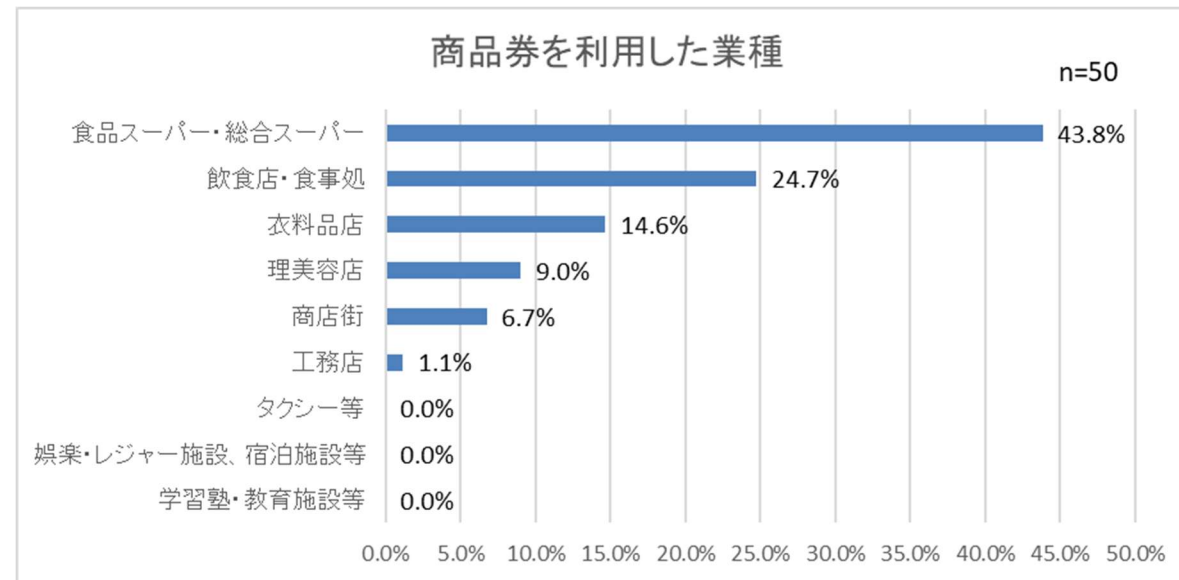
【通常券】

(1) 回答者の属性



プレミアム商品券（通常券）の利用者について、単身・独身または2人の世帯が68%（前年70%）を占めていた。また、最も使用割合が高かったのは60歳以上で66%（前年68%）であるが、40歳代までの割合24.0%（前年18.8%）と前年と比較して割合が伸びてきている。また、購入者のうち勤労者割合は50.0%（前年36.0%）と増加しており、プレミアム商品券（通常券）が働き盛り世代を中心に購買層の割合が広がったものと推測される。

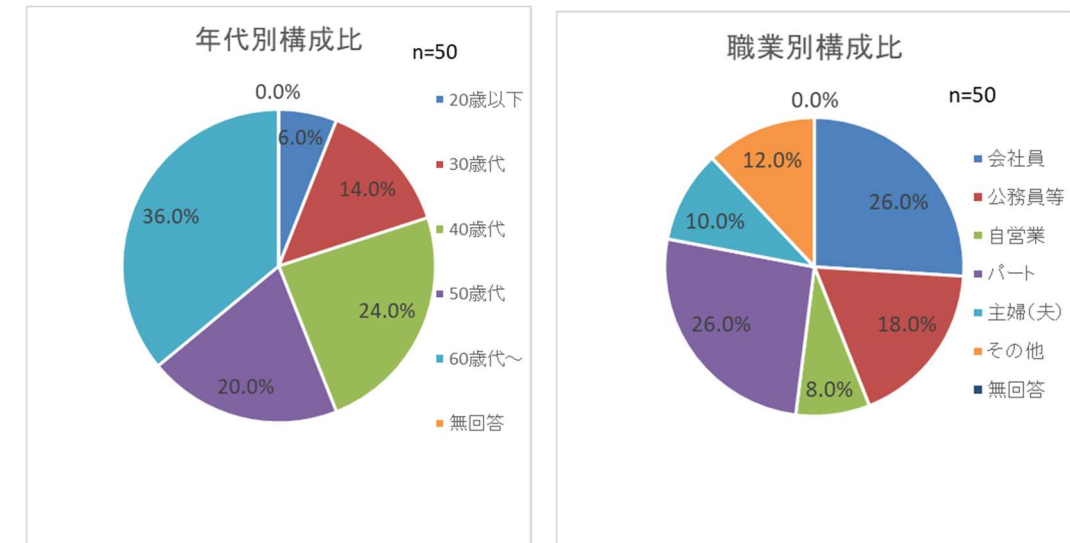
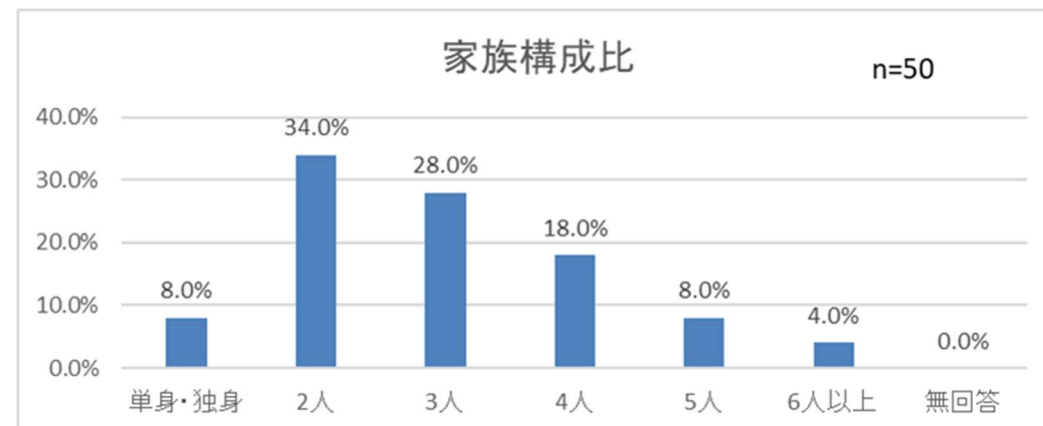
(2) プレミアム商品券を利用した業種



昨年と比較して業種上位 3 位に変動はないが、上位 3 位合計が 83.1%（前年 71.0%）と上昇している。衣食を中心にした支出割合が増加していることに特徴がみられる。

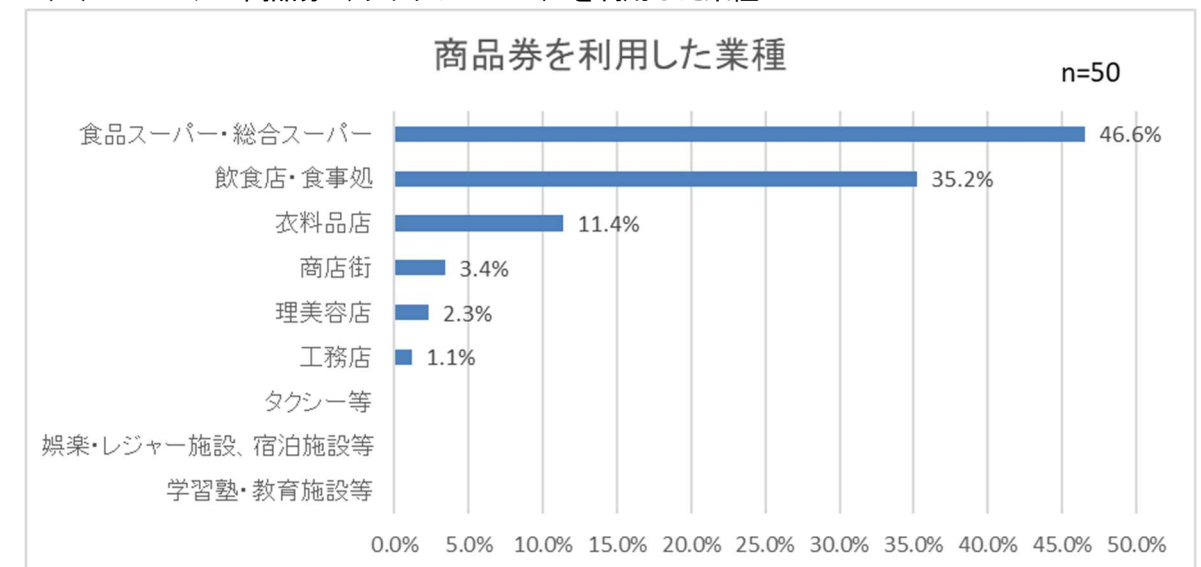
【キャッシュレス】

(1) 回答者の属性



3人以上の世帯が 58.0%（通常券 32.0%）を占めていた。また、プレミアム商品券（キャッシュレス）の利用者について、50 歳代までの割合が 64.0%（通常券 34.0%）と高く、また、購入者のうち勤労者割合は 78.0%（通常券 50.0%）と高い。キャッシュレス商品券は働き盛り世代を中心に購入に広く支持されている。

(2) プレミアム商品券（キャッシュレス）を利用した業種



上位 3 位合計が 93.2%（通常券 83.1%）と高い。衣食を中心にした支出割合が高い傾向はキャッシュレス商品券の方が通常券に比べ顕著である。